

第22回 応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会 プラズマ新領域研究会

『多相空間プラズマのマテリアル科学』

日時：2015年11月28日 13:00～17:00

場所：千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス（東京都墨田区押上1-1-2）

<http://www.it-chiba.ac.jp/skytree/>

主催：応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会

共催：千葉工業大学フォーラム「プラズマ技術の未来展望」

参加費：無料

概要：近年、イオン化した気体と一般的に捉えられている”プラズマ”において、微粒子、液体、固体などの凝縮相（凝縮体）を気体の内部に含む”多相空間プラズマ”と呼ばれるコロイド系の新しいプラズマが創製され、そのプロセス反応場への応用が注目を集めている。凝縮相効果や界面効果等に起因する特異なプロセス物性が見出され、従来のプロセスの1000倍にも達する材料合成・堆積速度が実現されるなど本プラズマを用いたプロセス反応場イノベーションへの期待は大きい。また、この新しいプラズマの基本的な特性の解明が強く切望されている。以上の背景の下、本研究会では、この多相空間プラズマの創製、凝縮相の構造ダイナミクスを含むプラズマの時空間計測による本プラズマの物性・現象に関する理解と制御、プロセス特性（超高速性など）を生かした革新的プロセス反応場創製に関する講演を行い、プラズマプロセッシングのさらなる発展につなげるための展開について討論する。

プログラム：

- 13:00-13:40 「多相空間ナノ複合構造プラズマ反応場の創製」
寺嶋和夫（東京大学）
- 13:40-14:20 「水中レーザー誘起多相空間プラズマの動的挙動」
作花哲夫（京都大学）
- 14:20-15:00 「多相空間プラズマによるナノ反応場の形成と反応性」
宮島謙，真船文隆（東京大学）
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-15:55 「多相空間プラズマの時間分解分光計測」
伴野元洋（東京理科大学），錦野将元（日本原子力研究開発機構），小栗克弥（NTT物性科学基礎研究所），由井宏治（東京理科大学）
- 15:55-16:35 「多相空間プラズマで発現する新規な触媒機能」
野崎智洋（東京工業大学）
- 16:35-17:00 まとめと閉会の挨拶

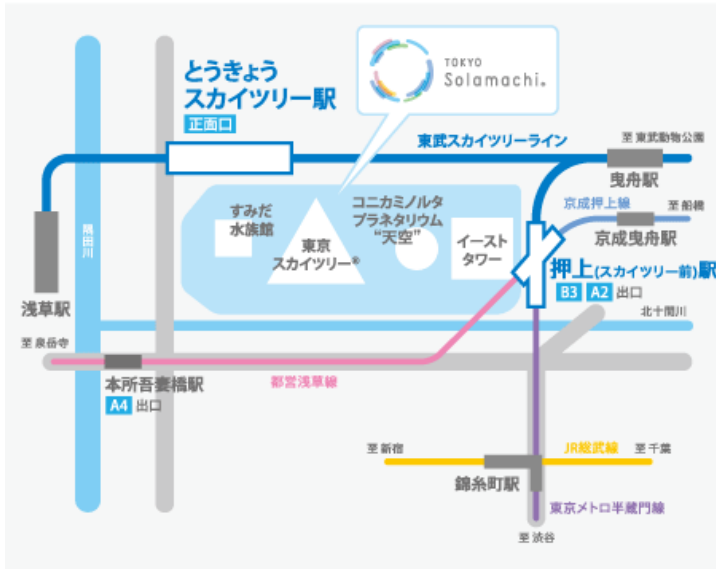
問い合わせ先：井上泰志（千葉工業大学，inoue.yasushi@it-chiba.ac.jp）

■ アクセス情報

千葉工業大学 東京スカイツリータウン®キャンパス ソラマチ8F (東京都墨田区押上1-1-2)

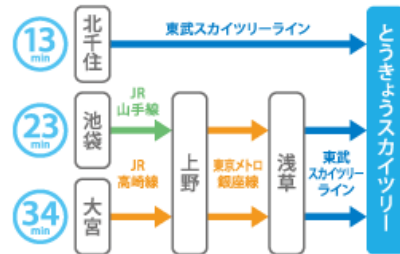
近隣路線のご案内

東武スカイツリーラインなら浅草から乗り換えなしで**3分**

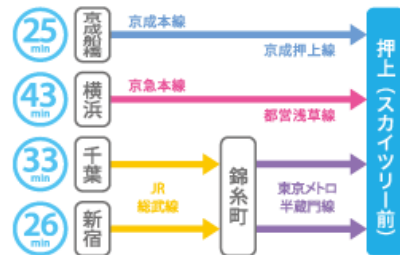


●主要駅からのアクセスと所要時間

とうきょうスカイツリー駅まで



押上駅まで



※表示時間は乗車時間で、乗り換えに要する時間は含まれておりません。

